

# べ 議会だより つかい

第 81 号  
2017  
5.1



ダンッ！正拳突き of 踏み込み音が響く  
気迫の演武で見るものを圧倒する  
部活動の魅力を伝える新入生歓迎会

## 特集

新年度予算215億8904万円 ..... 2

第1回定例会 ..... 5

平成28年度補正予算可決・上風連小学校改修など  
選挙管理委員の選挙が行われる

町政のここが聞きたい ..... 11

一般質問（中村・木嶋・外山・瀧川・小椋）

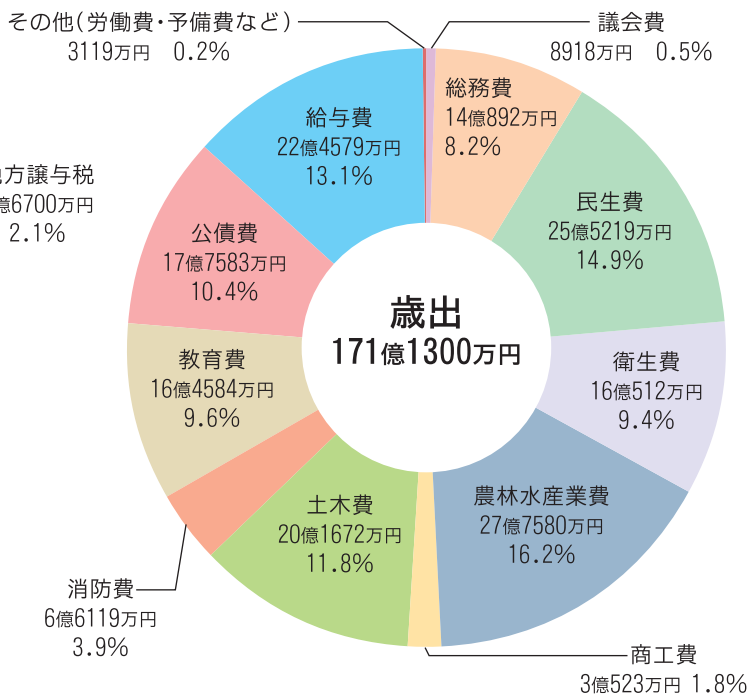
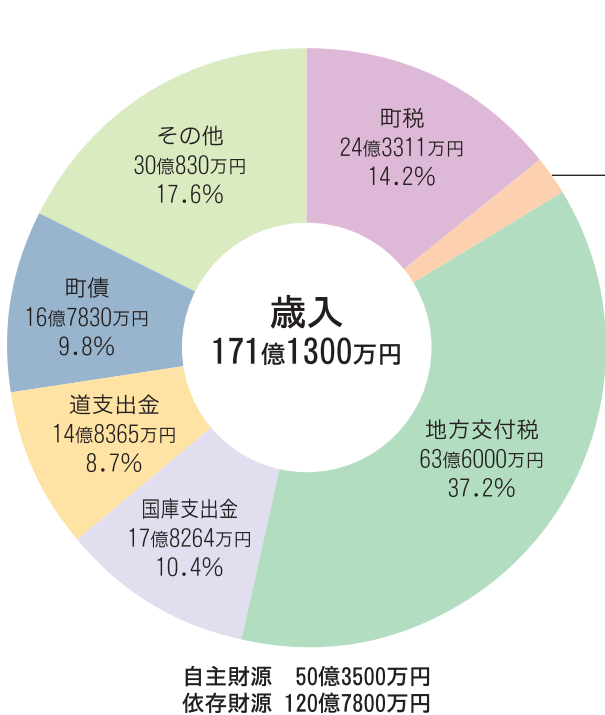
シリーズ まちの宝物 地域とともにある別海高校 その3 ..... 20



北海道別海町議会

# 平成29年度予算決まる

## 当初予算の概要



<b>各会計予算総額</b>	<b>215億8904万円</b>
一般会計	171億1300万円
特別会計	55億 420万円
企業会計	39億2203万円

**特別会計予算**

国民健康保険	30億3000万円
下水道事業	6億8850万円
介護保険サービス事業	4億8680万円
介護保険	11億4030万円
後期高齢者医療	1億5860万円

**企業会計予算**

病院事業会計	25億2293万円
水道事業会計	13億9910万円

(企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額です。)

**一般会計に対する反対・賛成意見**  
(反対2名 賛成13名)

**反対** 中村忠士議員

・広域地方税滞納整理機構に税徴収問題の一部とは言え丸投げする姿勢をとるべきではない。  
・社会福祉協議会に5000万円弱の補助金を出しているが、町との連携についてあいまいさがある。

**賛成** 小林敏之議員

平成29年度一般会計予算は、昨年(平成28年度)に比べ11・5%減の171億1300万円の予算となっている。  
平成28年度は例年にはない案件があり増額となっていたが、それらを除くとほぼ例年並みの予算である。

そのような中、町に新たな展望を開く・出産祝金贈呈事業・実のなる木植栽事業・森林担い手対策事業など新規事業も評価できる。

また、教育行政の充実を図る別海高校教育支援事業の継続や、子育て支援にも重点を置いた予算編成であり、重要な施策は概ね盛り込まれた予算である。

今後健全な財政運営への取り組みがなされることを期待して、本予算案に賛成する。

しゅつ さん いわい きん ぞう てい じ ぎょう

# 出産祝金贈呈事業・

がっ こう きゅう しょく

かい ちく じ ぎょう ひ

も こ

# 学校給食センター改築事業費などを盛り込む

本会議で提出された平成29年度各会計予算案が、議員全員による  
予算審査特別委員会(戸田憲悦委員長)において3月15日・16日の  
2日間にわたり、1項目ごとに慎重に審査されました。



## 町民体育館整備事業

金額 2億5265万円

老朽化した外壁・屋根などの改修工事を予定しています。



## 災害用備蓄資機材等整備事業

金額 1193万円

車両センターに整備される災害用毛布のほか、避難所などの備蓄食糧の更新。



## 潮位観測機器整備事業

金額 650万円

走古丹・床丹地区に潮位観測カメラの設置を予定しています。



## 上西春別中学校防音事業

金額 2億3664万円

講堂建設および外構工事を予定しています。



## 風蓮湖物揚場整備事業

金額 5000万円

物揚場の整備工事に着手します。



## 学校給食センター改築事業

金額 3080万円

老朽化した給食センター改築のため実施設計に着手します。

## その他の主な事業

### 出産祝金贈呈事業

金額 740万円

第1子3万円・第2子5万円・第3子7万円・第4子以降10万円贈呈します。  
(半額は町内商工会商品券)

### 実のなる木植栽事業

金額 108万円

憩の森公園・鉄道記念公園にブルーベリー、ハスカップなどを植栽します。

### 森林担い手対策事業

金額 969万円

作業の安全のため、森林高性能機械導入を補助します。

### 認定こども園等利用者負担助成事業

金額 2562万円

私立認定こども園、2園の利用者負担軽減分を補助します。

### 水産物産地市場衛生管理高度化施設整備事業

金額 7426万円

尾岱沼漁港係留施設・輸送道路などを整備します。

### ふるさと交流館補修事業

金額 5510万円

保全計画に基づき宿泊施設などを改修工事します。

### 公営住宅等整備事業

金額 7481万円

西春別駅前団地長寿命化改修工事(3号棟8戸)を行います。

### 医療機械器具整備事業

金額 2354万円

レントゲン画像診断装置・電動診察台ほか医療機械器具を購入します。



# 平成29年度 別海町各会計予算審査

特別委員会の中で行われた主な審査内容をお伝えします。

**質問**

町は河川・湖沼の水質調査を行っている。しかし、依然として改善されないと思えるが。

**回答**

河川は年4回、湖沼および流入河川は年2回の調査を行っているが、調査時期によって数値の変動があり、また気象条件により基準以内であったり基準を超える時もある。特に夏場の台風などの影響は大きいと考える。今後も注視して行く。

**質問**

ホームページリニューアル事業が予定されているが、町民から「わかりにくい・見にくい」という声がある。具体的な計画は。

**回答**

町の特徴が生かされたデザイン、また町内外の

利用者に向けて行政情報・観光地・イベント・産業などの魅力ある情報提供を心がけ、障がい者や高齢者にも使いやすいホームページであること。

このような方針でリニューアルしたい。

**質問**

実のなる木植栽事業の進め方、また今後町内各地域から苗の求めがあった時の対応については。

**回答**

植栽については、子どもたちの体験も含めた考え方で進め、子どもが各種教材として活用できるように公園づくりを目指す方針でいる。苗の提供については、各地域からの要望があれば検討して行く。

**質問**

ヒトデの減少で水産系副産物再資源化施設の運

営が非常に苦しいと言う話であるが、今後もこのような状況が予想される時の対策は。

**回答**

この施設については、町・漁協・加工振興組合などで構成する「管理運営委員会」で現在話し合いを行っている。状況により加盟団体のほか利用団体が施設維持の協定を結んだ中で応分の負担をし、進めていくことで協議している。

**質問**

観光振興外部専門家招聘事業の内容は。

**回答**

アウトドアメーカー、レンタカー会社と連携した「手ぶらでキャンプ」によるドライブ観光のモニターツアーの実施。また地域合意形成を図るための協議会の設置、

さらに外国人観光客を対象とした冬季コンテンツの検証を予定している。

**質問**

ふるさと交流館補修事業の内容と今後について。

**回答**

今年度は、保全計画に基づきエレベーターの改修・非常用放送設備の更新などを予定している。着工は9月以降と考えている。今後の交流館運営方法を定め8月までには方向を決めたい。

**質問**

防雪対策事業の調査・設計委託の内容は。

**回答**

平成26年度に大雪の被害にあってのことなどから、冬季の交通障害を防止・軽減することが今後重要と判断し、国の交

付金などによる事業化に向け調査・設計をする。

**質問**

空き家など対策事業はどのような計画で、どこまでの調査を目指しているのか。また、今後の利活用も含めての対策か。

**回答**

適正な管理が行われていない空き家などが防災・景観などの面で町民の生活環境に深刻な影響を及ぼす事態になっている。平成30年度予定されている空き家対策計画事業への反映を目的として、今年度は空き家状況の調査を予定している。空き家利活用については、住生活基本計画も見直すため、必要があればその中に盛り込んで行く。所有者・相続者についても調べられる範囲で特定して行く予定である。

第1回  
定例会  
3月9日～17日開催

第1回定例会は3月9日から9日間の会期で開かれました。  
補正予算の内容と専決処分および条例の改正と意見書の内容についてお伝えします。

平成28年度 補正予算概要

	補正額	予算総額
一般会計	6770万円	224億5660万円
特別会計	△2億3420万円	53億1760万円
病院事業会計	△5515万円	24億8505万円
水道事業会計	6056万円	16億9176万円

支出の部（主な補正）

新規就農者リース料支援事業	62万円増額
地域貢献中小企業支援事業	442万円増額
図書館付帯事業	10万円増額
企業振興促進補助金	1646万円増額
小学校校舎改修事業	1億1930万円増額
畜産競争力強化緊急整備事業	4億5568万円増額
庁舎等維持管理費	611万円減額
住宅用太陽光発電システム導入助成事業	616万円減額
福祉牛乳給付事業	601万円減額
認定こども園施設整備補助金	114万円減額
子ども医療費助成事業	903万円減額
本別海へき地保育園改築事業	779万円減額
エゾシカ被害対策事業	1681万円減額
特定不妊治療助成事業	120万円減額
合併処理浄化槽設置整備事業	1087万円減額
児童サービスセンター管理運営経費	661万円減額
森林環境保全整備事業	81万円減額

平成29年第1回定例会では平成28年度補正予算案が原案のとおり可決されました。

補正の内容は一般会計のほか、各特別会計・病院事業会計・水道事業会計において、事業の完了や支出額の確定などによるものです。

増額となったうち小学校校舎改修事業は、建築

から44年以上経過した上風連小学校の大規模改修（屋根の一部補修、外壁の全面塗装、内部の壁・天井部分補修と床の全面張り替え、給排水管や暖房設備の更新およびトイレの水洗化など）を実施するものです。



小学校校舎改修事業

金額 1億1930万円

大規模改修が実施される上風連小学校



地域貢献中小企業支援事業

金額 442万円

エコ型住宅の補助を受け着工した住宅

第1回定例会では42件の議案が提出され審議されました。また任期満了に伴う選挙管理委員と補充員の選挙が行われ、議員発議による意見書も提出されました。

意見書

◆日ロ両国における相互信頼関係の構築等を求める意見書  
(全会一致で可決)

提出者 西原 浩 議員

昨年12月15・16日に行われた日ロ首脳会談で、北海道民が期待していた領土返還の具

体的な道筋は示されませんでした。首脳は経済協力や、北方四島での共同経済活動などを進展させることにより、交流を進め、信頼関係を醸成し、平和条約締結に向け基盤づくりを進めることで一致しました。



本町から間近にみえる国後島、ロシアとの共同経済活動に期待が寄せられる

こうした中、ロシアにおいては名前のついていなかった無人島に第2次世界大戦終戦時に日本の降伏文書に署名した将軍や、旧日本軍との戦いで知られる将軍などの名前をつけるという行動に出たほか、2月には北方領土を含むクリル諸島に、新たに師団を配備することを明らかにしています。

このような行為に強く抗議するとともに、領土返還を求める立場を堅持し、両国の交流により信頼関係を築くため、共同経済活動の推進の協議を進めるよう求めるもので

一条例の一部改正

◆特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

◆教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部改正

平成19年7月より町長・副町長の給与10%と、教育長の給与5%を減額し、期間を当分の間と定め実施してきましたが、このたび期間を平成29年3月31日までの間に限りと改めました。

◆職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

2. 規定が新設された軽自動車税の環境性能割減免・特例の施行日が平成29年4月1日から平成31年10月1日に変更されたことから、これまでのグリーン化特例(軽課※)の延長などが盛り込まれました。

◆別海町地域情報通信施設条例の一部改正

◆別海町税条例等の一部改正

※軽課(けいか) 軽自動車税の場合、環境負荷が一定基準以下の車の税率を軽くすること。

町内の安定した通信網を確立するため、基地局を2基増設するものです。

町税条例について、関連する法律が改正となつたことから一部を改めるものです。

1. 個人町民税における住宅ローン控除制度の適用年度の期限を平成41年から平成43年に延長するものです。

また居住年も平成31年から平成33年とされました。

2. 規定が新設された軽自動車税の環境性能割減免・特例の施行日が平成29年4月1日から平成31年10月1日に変更されたことから、これまでのグリーン化特例(軽課※)の延長などが盛り込まれました。

3. 規定が新設された法人税割の税率引き下げの適用年月日を平成31年10月1日以降に開始する事業年度分とします。

◆町立別海病院事業の設置等に関する条例の一部改正

診療科目のうち眼科を削り、整形外科を加えるものです。



◆別海町立認定こども園  
設置条例の一部改正

「中春別へき地保育園」を「認定こども園中春別保育園」とするものです。



認定こども園となった中春別保育園

◆別海町特定教育・保育  
施設及び特定地域型保  
育事業の利用者負担等  
に関する条例の一部改  
正

認定こども園中春別保  
育園の利用料金を激変緩  
和措置により、3年目に  
所定料金とするものです。

工事請負  
契約の締結

契約金額が5000万円を超える工事の請負契約締結については、議会の議決が必要となります。

◆根室中部3号主要幹線  
改良舗装工事

- ・契約金額 2億5488万円
- ・契約の相手方 高玉建設工業株式会社
- 代表取締役 高玉政行

◆中西別上風連線改良舗  
装工事

- ・契約金額 1億6416万円
- ・契約の相手方 高玉建設工業株式会社
- 代表取締役 高玉政行

選挙管理委員  
選挙

◆別海町選挙管理委員お  
よび補充員の選挙

平成29年3月18日付をもって任期満了となる、選挙管理委員および補充員の選挙が、平成29年3月9日本会議場で行われ、以下のとおり決まりました。



高崎 好藏 さん



鎌田 敦子 さん



永野 英俊 さん



廣島 朋子 さん

選挙管理委員

- ・高崎 好藏さん
- ・鎌田 敦子さん
- ・永野 英俊さん
- ・廣島 朋子さん

補充員

- 1 三原眞佐子さん
- 2 阿部 隆美さん
- 3 櫻井 弘さん
- 4 北島 和治さん

選挙管理委員会とは具  
体的に何をしているのか  
をご紹介します。

△公正な選挙

住民の意思が、正確に  
政治に反映されるために  
は、選挙自体が公正に行  
われなければなりません。  
選挙は、公的な機関の  
人々によって常に厳しく  
管理されています。

正しい選挙を見守ること  
は、民主主義を守り、そし  
て住民のくらしを守ること  
なのです。

△主な役割

市区町村の議会の議員お  
よび長の選挙に関する事務  
を管理し、国政選挙を含む  
すべての選挙について投票  
票を行い、選挙人名簿の作  
成・管理を担当します。

△組織

委員数は4人、任期は  
4年。  
委員は、選挙権を持つ  
ている人、人格が高潔、  
政治および選挙に公正な  
識見を持つ人のうちから  
議会の議員による選挙で  
選ばれます。  
委員長は、委員の中か  
ら互選されます。

## 第1回定例会（3月9日～17日）

討論が行われた議案の採決結果	小	外	大	木	松	森	今	西	沓	小	瀧	戸	中	渡	佐	松	採決結果
	原	山	内	嶋	壽	本	西	原	澤	林	川	田	村	邊	藤	原	
	哲	浩	省	悦	孝	一	和	浩	昌	敏	榮	憲	忠	政	初	政	
	也	司	吾	寛	雄	夫	雄	浩	廣	之	子	悦	士	吉	雄	勝	
平成29年度別海町一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	※	可

○原案賛成 ●原案反対 ※議長は可否同数の場合に決裁権があります

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第1号	平成29年度別海町一般会計予算	議案第23号	別海町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号	平成29年度別海町国民健康保険特別会計予算	議案第24号	別海町町税条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	平成29年度別海町下水道事業特別会計予算	議案第25号	別海町児童館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	平成29年度別海町介護サービス事業特別会計予算	議案第26号	別海町立認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	平成29年度別海町介護保険特別会計予算	議案第27号	別海町立へき地保育園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	平成29年度別海町後期高齢者医療特別会計予算	議案第28号	別海町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第7号	平成29年度町立別海病院事業会計予算	議案第29号	別海町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第8号	平成29年度別海町水道事業会計予算	議案第30号	別海町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例を改正する条例の制定について
議案第9号	平成28年度別海町一般会計補正予算	議案第31号	別海町地域包括支援センター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第10号	平成28年度別海町国民健康保険特別会計補正予算	議案第32号	別海町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
議案第11号	平成28年度別海町下水道事業特別会計補正予算	議案第33号	別海町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第12号	平成28年度別海町介護サービス事業特別会計補正予算	議案第34号	別海町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
議案第13号	平成28年度別海町介護保険特別会計補正予算	議案第35号	町立別海病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第14号	平成28年度別海町後期高齢者医療特別会計補正予算	議案第36号	別海町ホームヘルプサービス事業条例を廃止する条例の制定について
議案第15号	平成28年度町立別海病院事業会計補正予算	議案第37号	別海町生涯学習推進協議会設置条例を廃止する条例の制定について
議案第16号	平成28年度別海町水道事業会計補正予算	議案第38号	工事請負契約の締結について
議案第17号	別海町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	議案第39号	工事請負契約の締結について
議案第18号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第40号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
議案第19号	教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第41号	町道の路線認定及び廃止について
議案第20号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第42号	平成28年度別海町一般会計補正予算（第6号）
議案第21号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
議案第22号	別海町地域情報通信施設条例の一部を改正する条例の制定について		

以上、議案第1号を除き、全会一致で可決しました。



## こう いき れん ごう いち ぶ じ む くみ あい ぎ かい ほう こく 広域連合・一部事務組合の議会報告

中標津町議事堂 平成29年 3月 3日開催

### 根室北部廃棄物処理広域連合

(構成町：別海町・中標津町・標津町・羅臼町)

- ・平成29年度一般会計予算  
歳入・歳出それぞれ9億6790万円で原案どおり可決。

### 中標津町外2町葬祭組合

(構成町：中標津町・別海町・標津町)

- ・平成29年度一般会計予算  
歳入・歳出それぞれ6176万円で原案どおり可決。

### 根室北部消防事務組合 (構成町：別海町・中標津町・標津町・羅臼町)

- ・平成29年度一般会計予算  
歳入・歳出それぞれ16億7106万円で原案どおり可決。
- ・平成28年度一般会計補正予算  
歳入・歳出それぞれ917万円を減額し、17億2717万円。
- ・職員の勤務時間および休暇などに関する条例の一部を改正する条例制定は、原案どおり可決。

## 議会傍聴インタビュー

一般質問の傍聴に訪れた方にお話しを伺いました。

【お話を伺った方】

建友会の磯田佑平さん、時野利紀さん、  
山崎拓治さんに聞きました。

**広報**…傍聴の感想は



**磯田**…災害時の避難経路が気になっていた。町の考えを聞いて良かった。



**時野**…議員の皆さんは子どもの教育や保育などいろいろ考えていると感じた。



**山崎**…初めて参加した。質問はさまざまな問題を考える必要があり、大変だと感じた。

**広報**…議会だよりの印象・改善点は

**磯田**…沢山の人に見てもらえるよう、拡散方法を考えてはどうか。

**時野**…カラーで、写真も多く、見やすくわかりやすい。



**山崎**…議会内容をもっと知らせる、見せる工夫が必要。

**広報**…議会全体に対する印象・要望は

**磯田**…議会の硬いイメージを除くことができた。

**山崎**…静かに懸命に議会に臨んでいる印象を受けた。

**時野**…別海町の恵まれた環境を生かしていける方法をこれからも考えてほしい。

**その他**…子どもたちの傍聴は町を知る機会になる。傍聴の時間があってもいいのでは。

# 議会モニター意見交換会開催

別海町議会では平成28年度より議会モニターを設置し、議会傍聴やアンケートの実施、モニターの皆さんとの意見交換をおして、住民との協働や情報共有の推進を目指してきました。  
本年2月23日に議会モニター2名が参加し意見交換会を開催しました。  
傍聴時にお願したアンケートの内容も含めてご報告します。

## 議会モニター 意見交換会

### 質問

・3月定例会の日程を町内中学校の卒業式に議員が出席できるように配慮が必要では。

・子ども議会開催の企画はありませんか。  
・寿大学が行う行事へ学長（教育長）の出席を。  
・友好都市との文化交流の実施を。

### 回答

いずれも町側との協議も含め調整が必要であるため、町に申し入れをします。

### 質問

一般質問は身近で生活実態に近い問題を取り上げることを要望します。

### 回答

議員間で協議します。

### 質問

議会だよりについては全体的に網羅されている。しかし気になるのが空欄である。

レイアウトの関係かとも思うが、上が空いている部分がある。この空欄がなければもっと詳しい記事が書けるのではないか。

また、1行あたりの文字数が少ないので、大きな活字を使うと寸足ら

ずになる感じがする。

1行は2段分使う方が読みやすいのではないか。

さらに、表は横書きになる。これを考えると横書きのレイアウトもいいのではないか。

縦書きと横書きが混在し目線がちらちらする。

### 回答

紙面の見やすさを考え、余白を作るという方針で編集しています。

横書きや1ページの段組みについては、読みやすさのための改善をしていく必要があると考えています。

## アンケート による意見

### 質問

議会モニター員へのアンケートの活用方法。

### 回答

全議員で共有し政策提

言などへ活用します。

### 質問

アンケートの内容について工夫を。

### 回答

次年度に向け工夫します。

### 質問

カタカナ用語の使用について、わかりやすさへの工夫。

### 回答

議員間で協議研究します。

### 質問

定例会における毎日の会議録署名議員の読み上げについて。

### 回答

会議規則で決められており、町村議長の指導からも会期中毎日読み上げることが好ましいとさ

れています。

### 質問

定例会に出席する役場職員の基本は。

### 回答

議会からは町長に対し出席要請をします。

出席職員は町側が決めるため議会では把握していません。

### 質問

会議を欠席する議員の理由を説明する必要があるのでは。

### 回答

議会を欠席する際には正当な理由により、議長の許可を得て欠席しているため、本会議場では氏名のみを読み上げています。

平成29年度も議会モニターを設置します。

## 第1回定例会 一般質問

# 町政のここが聞きたい

第1回定例会では5日目（3月13日）に5議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。（全文は町のホームページに掲載）

### ■ 中村 忠士 議員……………12

- 1 教職員の長時間勤務などの改善を
- 2 子どもの貧困対策を
- 3 別海高校生への支援策は

### ■ 木嶋 悦寛 議員……………13

- 1 災害を想定した道路整備をどう考えるか
- 2 担い手不足解消に向けて
- 3 定住促進のために
- 4 第7次総合計画の策定に向けて
- 5 国際的な経済交流は

### ■ 外山 浩司 議員……………14

- 1 民主的な教育委員会体制の考えは
- 2 酪農ヘルパーの人材確保にむけて

### ■ 瀧川 榮子 議員……………15

- 1 子育て世代の応援を
- 2 老後の安心な交通網を

### ■ 小椋 哲也 議員……………16

- 1 透析医療体制の整備と患者および家族の支援体制を

詳しい議事録は町のホームページに掲載します。

別海町議会

検索

一般質問とは、行政全般について議題とは関係なく議員主導で政策論議できる仕組み。質問内容は事前に通告する必要があり、定例会でのみ行える。持ち時間は一人60分となっている。



中村忠士議員



**中村議員** 教職員の長時間勤務などの改善を

教育部長 公務支援システム導入で効果が出ている

曾根町長

改正法においても、教育委員会は合議制の執行機関であり、政治的中立性、継続性、安定性は確保され、職務権限は従来どおりだ。

質問

教育行政執行の上で、基本に据えるべきものの一つとして、国連総会で採択され、日本も批准している「子どもの権利条約」がある。「権利条約」の位置づけ、履行についての教育長の見解を聞く。

伊藤教育部長

条約の「教育への権利」「教育の目的」などの趣旨を踏まえ、教育活動全体を通じて基本的人権尊重の精神の徹底を図っていく。

法律が変わって、町長が教育委員会の責任者を任命し、教育に関する大綱を策定することになったが、教育の独立性は厳格に守られるべきだ。見解を聞く。

また、条約12条に「条約の原則、規定を成人および児童のいずれにも広

く知らせることを約束する」となっている。

このことをしっかり受け止めてやっていきたい。

質問

教職員の長時間勤務、煩雑な事務仕事、部活や少年団活動などの問題は解決されたか。

中谷教育部長

公務支援システムを試験導入し、事務改善の効果が表れている。また、部活指導についても時間縮減を図っている。

今後も勤務時間の改善縮減などに取り組んでいく。

**子どもの貧困対策を**

質問

子どもの貧困率が過去最悪となり、問題が年々深刻化、複雑化してきて

いる。

教育と福祉の両面で専門的知識と対応力を備えたスクールソーシャルワーカーの配置を本格的に考える必要があると思うが。

中谷教育部長

平成29年度の配置を北海道教育委員会に申請している。

質問

就学援助制度の支給基準を引き上げる案が国会で論議されている。引き上げが決まった場合

合、町もそれに準じて引き上げるか。

中谷教育部長

これまでも国に準じて規則の改正などを行ってきた。

今後同様に行く。

質問

町の就学援助制度の入学準備金支給が5月となっている。入学前に支給できないか。

早期支給する自治体が増えている。町も工夫する必要があると思うが。

中谷教育部長

難しい面があるが、研究してみる。

**別海高校生への支援策は**

質問

別海高校の通学費補助などを実施してきた。継続、拡充など今後の計画は。

中谷教育部長

これまでの支援は全て継続し、さらに部活動への支援を拡充する。

質問

別海高校の寄宿舎について、今後の方向性や見通しは。

中谷教育部長

設置、運営方法の検討を行い、平成30年度に入学する生徒が寄宿できるように取り組んでいく。



答弁に立つ伊藤多加志 教育部長

### 木嶋議員 災害を想定した 道路整備をどう考えるか

町長 少しでも町民の安全を  
図っていくことが必要だ

#### 質問

昨年は相次ぐ台風の影響で、当町でも農地やサケマス増殖施設の被害などがあつた。

今後災害に対し、どのように基幹産業を守っていくのか。

#### 竹中総務部長

被害を最小化するために、気象情報、防災情報の迅速な提供、防災機関や産業団体などの綿密な連携が必要と考える。

またライフラインの強



木嶋悦寛議員

として、交付金を活用して橋梁および舗装道路の修繕事業を計画的に実施。

また、町単独の道路維持補修事業で災害時に備えた改修も行っている。

国、道が管理する道路に對しては、安全な通行確保のため、線形改良など継続的に要望をしている。

#### 質問

町内の主要な道道の規格化などにより住民の生命と財産を守り、基幹産業を守ることにつながるものとする。

災害を想定した道路整備に對しどう考えるか。

#### 宮越建設水道部長

町内を通過する3本の国道とそれに連絡する道道、道道の一部は、緊急輸送道路として指定をされている。

町道の老朽化対策



2019年開通予定の根室道路建設現場。災害などに対しても高規格道路の役割は大きく、ネットワーク化が進められている

### 担い手不足解消に向けて

#### 質問

担い手不足解消に引きこもり対策を。

#### 河嶋福祉部長

まずは、社会復帰を進めるため地域住民の理解を深め、居場所、交流の場づくりなど、各関係機関および民間企業との連携が重要だ。

### 定住促進のために

#### 質問

離農者の定住支援が必要では。

#### 佐藤産業振興部長

過去3年間の62戸の離農後の所在は、離農地に留まるが46戸、町内転居が6戸、町外転出が10戸となっており、引き続き町内に住まわれている方が52戸。

現時点では対応する必要性は少ないが、離農地に住んでいる方も将来的には市街地への移住を希望することも考えられる。

空き地を含めた空き家住宅の実態調査など、総合的な対応が必要と認識している。

### 第7次総合計画の策定に向けて

#### 質問

町長の第7次総合計画策定に向けての思いは。

#### 曾根町長

第7次総合計画策定にあたり、町民意見の広聴など、多くの意見を聞き計画を策定したい。

#### 質問

協働によるまちづくりをどうとらえているか。

#### 曾根町長

町民の要望が多様化する中で、町が一体となつての取り組みが重要だ。

第7次別海町総合計画においても、引き続き協働に取り組みたい。

### 国際的な経済交流は

#### 質問

前町長が掲げていた中国の特定都市との経済交流、友好都市提携に對する町長の考えは。

#### 曾根町長

中国の特定都市との直接経済交流、友好都市の提携も今のところ考えていない。

相互に信頼関係を構築した上でなければ、実行するべきではない。

ただ、根室管内全体での輸出への取り組みなど、別海ブランドを広げるための可能性にはトライしたい。

外山浩司議員



## 民主的な教育委員会体制の考えは

町長 行政と教育機関がしっかりと連携を取っていく

曾根町長

今回の改正は、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築である。

また、首長との連携が、強化されたことにより、住民の意向がより反映されることになった。

行政と教育機関がしっかりと連携を取っていくことが大切である。

質問

新制度で、首長が教育に関する「大綱」を策定するにあたり、どのような考えか。

曾根町長

前町長のもと、平成28年2月に現在の大綱を策定している。

この大綱は、平成30年度までとなっているので、教育委員会と十分に協議を行いながら、次の大綱

平成27年に教育委員会制度が一部改正された。これにより首長の教育への関わりが深まった。民主的な教育委員会体制にむけた町長の考えは。

を策定していきたい。

## 酪農ヘルパーの人材確保にむけて

質問

酪農ヘルパー確保に向けてどのような対応してきたか。

佐藤産業振興部長

東京などで開催される新・農業人フェアや北海道新規就農などでの募集活動を行った。

人材発掘のため、首都

質問

農業人フェアでの成果は。

佐藤産業振興部長

本年度は東京、大阪を中心に農業人フェアに9回出向き、研修生などの募集活動や高校・大学など14校を訪問して、町内

圏の大学、高校、専門学校を訪問し、新規就農者や酪農ヘルパー要員などの新たな人材発掘に積極的に取り組んでいる。

質問

制度へ加入している組合とそうでない組合がある。大きな事故、病気の場合、2カ月間の補償が出る制度なので、加入が望まれる。

佐藤産業振興部長

国においては、酪農経営安定化支援ヘルパー事業、道では酪農経営ヘルパー育成支援促進事業により支援を実施している。

質問

この予算は、農家の負担軽減に使われているのか、それともヘルパーの賃金アップに活用しているのか。

佐藤産業振興部長

農家の負担軽減ということを出している。

質問

ヘルパーの住宅確保に向けて、閉校になった学校の教員住宅は利用できないか。

佐藤副町長

農協などで居住地を確保する動きも出てきている。町としても町の職員住宅および利用していない教員住宅について許される範囲で対応したい。



3月に道南の高校を卒業し、酪農従事者への夢にむかって別海高校専攻科へ入学した石黒さん（なかしゅんべつ未来牧場で研修中）

質問

当町では酪農ヘルパー傷病時互助

質問

どのぐらいの補助をしているか。



瀧川議員

## 子育て世代の応援を

福祉部長 全ての児童を受け入れられる  
計画内容にしていく

質問

別海保育園では0歳、1歳、2歳児は保育園以外受け入れ先がないというので、入園申し込み者全員が入園できることになった。

しかし、3歳、4歳児は入園を希望しながら、28人の子どもたちが他の施設を選ばざるをえなかった。施設の空間を拡大することを視野に入れる必要があるのでは。

河嶋福祉部長

市街地区では、私立認定子ども園2園と公立保育園の3施設全体で、待機児童を出さず、全ての児童を受け入れられる計画内容となっている。

私立子ども園では、事業者の特色をだした施設運営を行っていることから、今後、別海保育園以外の施設選択も十分考えられる。

ただちに増築を検討する状況にはないが、待機児童の発生が継続すると想定される場合、総合的に判断したい。

質問

私立幼稚園では保育園と違った出費が出るので

はという不安の声が聞かれるが。

河嶋福祉部長

教材費については、所得に応じてであるが、助成制度があり、活用が始まっている。

質問

来年度入園希望者への対応はどのように。

河嶋福祉部長

待機児童を出さないことを最優先とする。申込み時の保護者に対する説明を徹底するとともに、私立子ども園の協力を得ながら、家庭、園児に寄り添った対応を行っていく。

## 老後の安心な交通網を

質問

広大な面積の当町には、高齢になり運転免許を返

上する人、もともと免許を持たない人、障がい者などが居住している。

生活バスでは補いきれない交通網の改善策を求める声が大きくなっている。現段階で考えられている改善策は。

竹中総務部長

現在、町の公共交通網は民間バス4路線、生活バス4路線となっている。

この区域以外の空白を補う形でスクールバス4台に高校生や高齢者が相乗りし、民間バス、生活バスに接続することで通学や通院の利便性を図っている。

これらの対応でも交通サービスを受けられない方が存在することから、通院や買い物など移動支援を提供する車両の試運転運行開始に向け、調整を進めている。

質問

メリット・デメリットを踏まえた住民アンケート、利用者の意識調査が必要だと考えるが。

竹中総務部長

メリットは交通弱者へのサービスの提供が可能になるといふ点に尽きる。

また、サービス提供で利便性が向上する半面、有償事業者の経営圧迫の可能性があり、十分な協議が必要と考えている。

デマンド交通※を実証するにあたり、バス利用者をはじめ、高齢者や町内会を対象に調査を実施していく予定としている。

### ※デマンド交通

デマンドは「要求、要請」の意味。利用者が電話などで乗車を予約し、乗り場や行先はエリア内なら希望できる仕組み。

質問

町長は公約に老後の安心を掲げている。交通網を整えることについてどのような考えを持っているか。

曾根町長

高齢者世帯だけでなく、同居世帯でもさまざまな課題があると聞いている。それらを網羅し、どのような方向で整えることができるか、検討の指示を出しており、しっかり取り組んでいく。



瀧川榮子議員



別海病院前で利用者を待つ地域生活バス

小椋哲也議員



## 透析医療体制の整備と患者および家族の支援体制について

町長 治療の即時対応は難しいが  
支援体制の強化を図る

大槻病院事務長

者と家族の負担を軽減するために、別海病院で決できないか検討している。」と語っている。  
以後の協議内容は。

うには課題が多いと考えている。  
管内全体の状況の推移も含め、さまざまな課題と状況を精査しながら判断していきたい。

質問

税金の控除や医療費助成など国の制度もあるが、現在、透析患者とその家族が受けることのできる支援制度にはどのようなものがあるか。

質問

初期費用、運用費用ともに小さな額ではないが、透析医療体制の整備について町長の判断は。

曾根町長

透析の問題は、単純に費用的な問題だけでなく、根室北部の中核病院である中標津病院の経営にも影響が出てくることもあり、今すぐ透析治療に対応する、という判断を行

質問

患者と家族の置かれている状況を把握し、適切な制度の活用を提案する



中核病院との緊密な連携も含め透析医療体制の充実が求められる

河嶋福祉部長

現在、町独自に交通費の助成を行なっている。今後、負担軽減に向けて障がい者バス、ハイヤー利用券の交付事業の拡充など、生活地域や生活実態に則した利用しやすい取り組みを検討していく。

河嶋福祉部長

行政としては手続きの中で、本人の同意のもとで世帯構成や課税状況な

どは把握しているが、細かな生活実態については本人から相談がない限り把握していない。

また、透析患者に限らず、悩みごと相談や生活実態の把握などは、地域に密着した活動をしている民生児童

福祉委員と連携し状況の把握を行なっている。

質問

透析患者さんとその家族の方からお話を伺って、病院のバス停留所に風除

けがなく冬期間は非常に辛い、透析後はしばらく倦怠感が強く出るため治療後に少し休憩する場所が欲しい、大雪時に短期入院のような形で病院に泊まれないか、などの中標津病院側に対する要望や意見などが聞かれた。

曾根町長

これらは羅臼や標津から利用されている方も同様の状況であると考えられる。

町外の施設の話しではあるが、周辺自治体と連携して環境改善の働きかけや支援の体制を構築できないか。

住民に寄り添った行政運営については、町民の皆さんがなんでも相談できる、聞いてもらえる、そういう役場の体制にあるべきだと考える。

今後策定する第7次総合計画の中でもしっかりと取り組んでいく。

中標津病院への働きかけについては、別海町単独としても要望を伝えていくのはもちろんとして、管内4町としても連携し、議会と行政が協力してまちづくりを進めていきたいと考えている。

質問

現在の病院建設時に透析治療体制の整備について検討があり、その際は「患者の動向も含めた透析治療の見直しを病院とも十分に協議をして、患



かく じょう にん い いん かい  
**各常任委員会のうごき**

第3回定例会から第4回定例会に行われた各常任委員会の活動について概要をお知らせします。

**総務文教  
常任委員会**  
 委員長 松壽 孝雄

**まちづくり構想の策定**

町の交流と防災の拠点となる（仮称）生涯学習センターの建設地を交流



（仮称）生涯学習センター建設予定地となっているぶらと前Aコープ跡地

館ぶらと前周辺とし、敷地面積8924平方メートルに延べ3500平方メートル程度の施設を整備します。

施設は平成33年度からの供用開始を目指しています。

総事業費は概算で20億

8500万円と想定しており、75%を防衛省の補助金で賄う計画です。

当委員会として、今後も継続調査を行なっていきます。

**地域テレワークの推進について**

平成29年1月末現在、滞在型テレワークを利用した累計人数は52名で滞在日数は延べ407日となります。

他にも移住体験プログラム、人材育成事業、サテライトオフィス誘致等プロモーション、テレワーカー移住希望者向けWEBサイト整備などの事業が実施されています。

平成29年度も各事業の継続と強化、さらにテレワーカーや移住者と地域住民との交流の場の設置について検討されるよう働きかけます。

**別海高校への支援**

昨年実施した寄宿舎設置についてのアンケートで15・5%（39名）の生徒が利用を希望するとの結果があり、平成30年度の新入生募集に間に合うように設置準備を行うとのことでした。

また、通学費助成など継続して支援を行っており、本年度からは部活動支援として外部指導者の派遣や全道大会の予選を兼ねた地区大会への遠征費補助を行なっています。

今後も支援充実に向け継続調査を行います。

**学校給食センターの改築について**

現在使用している学校給食センターの老朽化に伴い建て替えを行います。

平成29年度から設計を開始し、平成31年度までの工事となる予定です。

**福祉医療  
常任委員会**  
 委員長 戸田 憲悦

**グループホームめぐもりを事務調査**

昨年12月、西部地区に開所したグループホーム育成会めぐもりを1月29日に事務調査しました。

第6次介護保険事業計画に基づき、認知症対応のグループホームを整備するため、民間活力を活用し取り組む事業として実施したものです。

施設は定員18名で現在8名が入所しています。

**本別海へき地保育園事務調査**

本別海地域に念願の「本別海へき地保育園」新園舎が完成しました。

ふんだんに道産材が使われ、園児たちに優しく機能的な作りです。

しかし、当地域も少子化が進んでいるため、今





開放的な空間と快適な居室を備えたグループホームぬくもり

和措置後は17万9978円となります。

平成27年度の一人当たり平均保険料に対し、5%となる8570円の増と試算されました。

平成30年度より北海道が所管する新制度では、医療費の適正化・保険料の標準化および保険医療・福祉サービスとの連携など課題もあり注視していきます。

後、園児確保に不安もありますが、子育て支援の拠点として「地域交流スペース」も有効に活用した保育園となるよう期待します。

**国民健康保険事業納付金の仮算定結果**

第2回仮算定の結果、一人当たりの納付金は20万6739円で、激変緩

**第4次別海町母子保健計画の策定**

国の母子保健対策ビジョン「健やか21」の趣旨をもとに策定されました。

平成28年までの第3次計画を検証し計画に反映させるとともに、妊娠・

出産・子育てへの連続的な支援を提供する体制の強化に取り組む総合的な計画で、平成29年度からスタートします。

**別海町障がい者計画（第3期）**

障がい者基本法改正、国の動向や社会情勢の変化に応じたサービスを提供するための計画です。

「地域社会における共生」、「自立と社会参加」が促進されるまちづくりを目指し、平成35年度までの7カ年の計画です。

**産業建設常任委員会**  
委員長 杏澤 昌廣

**別海町畜産環境に関する条例の本格施行について**

平成29年4月1日より別海町畜産環境に関する条例が本格施行されました。

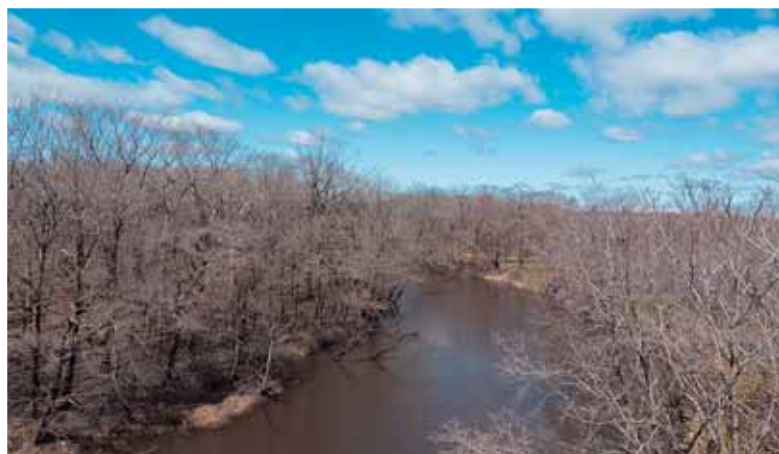
当町の基幹産業である酪農における基本理念を定め、町と事業者、農業団体の責務を明らかにし、良好な水環境を保全し農業と漁業が将来にわたり共存共栄しうる社会を構築するための条例となります。

過去には河川に家畜糞尿が流出してしまう大変不幸な事故も発生しました。

環境負荷を低減するための対策の手法と技術は定着しつつありますが、これらを地域全体の取り組みとして担保する枠組みが、別海町畜産環境に関する条例となります。

ここから些細な不注意でも環境に対して大きな影響を与えてしまう可能性があります、ということ酪農家含め地域全体で認識する必要があります。

国営かんがい排水事業をはじめとした各事業の取り組みもあり、



酪農と漁業を結ぶ河川は環境保全の要となる

## 議会運営委員会

### 友好都市視察研修

(2月14日～16日 大阪府枚方市)

最初に枚方市議会議長と枚方市長を表敬訪問し、その後、市立枚方宿鍵屋資料館を視察しました。

江戸時代、京街道や淀川を往来するうえで、重要な場所であった「枚方宿」の歴史を伝える資料館で、建物自体が歴史的建造物であり、またその中に古文書や出土遺物、模型、民俗資料などが展示されています。



鍵屋資料館を訪問する議会運営委員会

このように全域サービスをを行うことにより、子ども・障がい者・高齢者を含む誰もが、普段の暮らしの中で読書に親しむことができ、市民の読書習慣の維持・向上につながっています。その後、市議会に

書館を視察しました。

枚方市では図書館を8館、分室を11分室、自動車文庫ステーションを24カ所設置して、図書事業を展開しています。

蔵書冊数は約127万冊、個人貸し出し冊数は約363万冊で、過去には貸し出し冊数日本一の実績を残しています。

また、枚方市子ども読書活動推進計画を策定し、多様な子ども読書活動を推進しています。

戻り、枚方市議会における防災対策への取り組みと議会基本条例について研修しました。

本年度の災害対策訓練では、インターネット上の災害用伝言板を利用し

## 平成28年度 鉏根林活連絡会議研修会

参加者 松原、佐藤、中村、戸田、小林、杵澤、西原、松壽、木嶋、外山、小椋 各議員

(2月20日 鉏路工業技術センター)

平成28年度根釧西部森林管理署での取り組み状況」と題して、根釧西部森林管理署地域林政調整官の藤原寿一氏から講演をいただきました。

根釧西部の森林はエゾシカ被害が顕著であるため、その対策が課題となっており、移動式の小型囲い罠と誘引狙撃を組み合わせた機動力の高い新しい捕獲手法などを開発しているそうです。

エゾシカは森林だけに留まらない問題であるため、市町村と役割分担を

た議員の安否確認、被災状況の情報収集や情報提供訓練を行った後、防災体制のさらなる強化に向けた課題の検証・意見交換を行ったとのこと。

その他にも、消防指令

明確にして、ハンターとも連携を取りながらモバイルカリング（管理型捕獲手法）の開発事業を推進しています。

また、根釧西部特有の傾斜の少ない地形に最適化した大型地拵機械の運用方法の研究や適切な森林作業道の敷設による造林の低コスト化に力を入れているそうです。

特に森林作業道は目の前にある作業のみを目的とした整備を行いがちですが、例えば主伐作業に使った作業道は、翌年か

センターなどを訪問しました。

今後、当議会としてこの研修をどのように活かしていくか調査研究したいと考えています。

(西原議員)

らの造林作業に繋がり管理作業用として10年間使用できます。

長期的な運用を視野に入れた上で最も効果的な計画を立てる必要があります。



現場の実践的技術に学ぶ



## 地域とともにある別海高校 その3

ほっかいどうべつかいこうとうがっこうせいとかい かいちやう なかやまかりん  
北海道別海高等学校生徒会 会長 中山果林さん(3年)



平成27年度、普通科が2学級となり、全道的に学級減や統合が進んでいる中での1学級減に対し、別海町の方々の3問口維持に向けての取り組みや要請行動のおかげで、今年度に普通科3学級が復活しました。このことを本当に嬉しく思います。

新入生との対面式は4月11日に行われました。新しい制服に身を包み、緊張した顔の1年生。自分の入学当初を思い出し懐かしい気持ちになると共に、身の引き締まる思いでした。

また、生徒会長として挨拶をする場を頂き、これまでの別海高校の生徒が受け継いできた伝統である「綺麗な校舎」と「しっかりとした挨拶」を受け継いでほしいという旨を伝えました。

きっと今年の1年生も、この伝統を受け継いでくれることと思います。

同日、生徒会・農業クラブ入会式および新入生歓迎会、部活動紹介、全校生徒での交流会も行われました。

入会式および新入生歓迎会では役員と活動の簡単な紹介を行い、部活動紹介では各々のやり方で自分の部活動をアピールしました。

とても暖かく楽しい雰囲気で行うことができ、部活動へ興味を持ってもらえたと思います。

全校生徒での交流会は「仲間集め」というゲームを行いました。

2・3年生が積極的に声をかけ、交流し、1年生の緊張を和らげ打ち解けることができました。

最高学年となった今年度、1・2年生を引っ張っていくという自覚を持ち、別海高校のさらなる活気と伝統の継続に向けて生徒会活動に励みたいと思います。

## 編集後記

議会広報特別委員会が広報・広聴常任委員会となって2年、第74号から始まった編集も8号目となりました。

常任委員会としての活動は2年が区切りとなるため、今号が現在の委員での最後の発行となります。

この度、当議会たより77号が平成28年度全国町村議議会広報コンクール表紙写真の部において、全国2位銀賞の栄誉にあずかりました。全道の受賞はこれまでも幾度かありましたが、別海町議会始まって以来の快挙であり、写真を撮影した小椋委員をはじめ、企画編集に携わった委員全員の方であると喜びをかみしめています。

これまで長きにわたって、先輩たちが築き上げてきた編集技術の賜物であり、今後もしっかりと積み重ねていきたいと考えます。

(木嶋委員長)



飲んだら乗るな、乗らせるな、地域の力で飲酒運転撲滅を!!